

花巻市東和地域協議会
平成27年度第1回会議記録

日 時	平成27年8月20日(火) 10:05~11:50							
場 所	東和総合支所 第1会議室							
委 員	役 職	氏 名	出席	欠席	役 職	氏 名	出席	欠席
	委 員	下林 育男	○		委 員	熊谷 惠		○
	委 員	鎌田 榮一		○	委 員	多田 保子	○	
	会 長	小原 宏	○		委 員	大久保 浩二		○
	委 員	伊藤 功	○		副会長	松葉 孝博	○	
	委 員	吉田 英雄	○		委 員	渡部 久美子		○
	委 員	小原 順		○	委 員	柳谷 励子		○
	委 員	小川 洋征	○		委 員	平野 悠広	○	
	委 員	下坂 淳代		○				
出席職員	総合政策部 秘書政策課 課長 伊藤昌俊 東和総合支所 支所長 佐々木力弥 地域振興課 課長 菅谷一雄 課長補佐 小原一美、上席主任 新田正幸 市民サービス課 課長 川村勝夫 地域支援室 地域支援監 大石文子							
傍 聴 者	1名							

司会：地域振興課 課長補佐 小原一美

1 開会 (司会)

2 あいさつ (小原宏会長)

3. 諮問事項

(議長提案により、始めに(3)市町村合併の検証について、を議題とすることとした)

(3)市町村合併の検証について

●(議長)小原宏会長

それでは3番目の市町村合併の検証について、ご説明方、よろしくお願いします。

(資料により、菅谷地域振興課長より説明)

●(議長)小原宏会長

今、説明をいただきましたが、基本的に合併の検証というのは、今後進んでいくことなんですか？それともこの程度なんでしょうか。

●地域振興課 菅谷課長

合併の検証は色々なやり方がございまして、多岐にわたって比較するやり方、ですね、それから、大所をつかんでのやり方、というものがあります。今回最初からですね、細かい資料で、あーだったこーだったと言っても、比較する場合に、言っただけですけども、旧東和町の時のモノと、今花巻のモノっていうふうになった時に、なかなか切り分け難しいと思います。今の花巻の状態ですと東和だけに限ってどうのこうのと議論するのがなかなか難しいと思いますし、財政状況についても東和だけに財政をその後どう変わったかとか、というようなところが難しくなっております。それから当時考えられていた、「将来はこういうモノだよ」という話ですが、社会の変化、著しく変わってきてございます。今はもう人口減少に特化して、何とかしなければだめだ、移住・定住だとかという話しになってございます。当時、そういうふうな懸念事項というのは、なかなか色濃くは出てはいないですね。ですから、そういうところで、状況変化も大きくなっておりますので、今時点で検証という事になると、まずは、ざっくばらんなご意見を頂きながら、なおかつ、もうちょっとこういう所ある、こういう所を知りたいというようなことが、もしあるのであれば、今後とも話しを進めることも可能かと思っております。ただこれにつきましては東和だけでは無くして旧一市三町おなじように足並みそろえて話題を出してございますので、資料としてここだけがいっぱいきちっとしたモノを出すとか、深く入り込むということにはならないかと思っております。

●(議長)小原宏会長

各地の意見によっては合併の検証もするというということに置き換えて聞いても良いのかなというふうに思います。

これについて皆さんの方から、意見をいただきたいという事でございますから、皆さんの方からご意見なり感想だとかいうことについてありましたら発言をお願いします。思いついたことで結構だと

思います。

●下林育男委員

実は私の地域はそれこそ末端地域で、合併となるとかなりの疎外感を感じるんじゃないかと思いましたが、逆にですね東北横断自動車道・釜石自動車道が出来まして、それに付随してダンプとか行き来が、交通量が増えまして、道路がかなりゆがんで、全面張り替え工事をしていただきまして、小原前線もすごく広くなりまして、あれ、かえってこれは合併効果の大といいますかね、そういう、なんかを逆に感じたところでございます。

●(議長)小原宏会長

そうですね。皆様からご意見、順次聞いていきますが、今みたいに大型の工事というのは、やはり合併してから相当出てきているなど、いうふうな感じしていましたが。伊藤さんいかがですか。

●伊藤功委員

合併の効果ですか。なかなか、市の役場から 20 何キロもあると、あまりそういう点では、ここにもあります「広域的日常生活における利便性の向上」、書いてありますが、なかなか、これは地形的な問題ですけど、その辺は、必ずしも良かったとは思いませんけども、やはり、どんどん東和町だけではなく全国で減っているわけですので、いずれ、合併したならば、もう少しですね、どこも人口減少の問題を抱えているわけですが、人口を増やすことを、ビジョンをやってきました。ただ、田瀬はね、なかなか、該当しているか、それなりにね、やっていかなければ。

●(議長)小原宏会長

平野さん、どうですか。何か感じることはありませんか。

●平野悠広委員

合併前は東和町の時代に進学のために東和町を離れまして、その後に、合併後、昨年、花巻に帰ってきたということで。具体的な効果はちょっとわからないですけども。他の地域の方に話す時に「どこ出身なの」と言われた時に「花巻」っていうと説明しやすいというか、そういうメリットは感じました。

●(議長)小原宏会長

説明しやすいというのはどういう…

●平野悠広委員

ちょうど今、高校野球やっているので、「花巻東の所だよ」というと「あー、大谷のね」とかい
うことで、認知度は非常に上がったかなという所がありますし、そこで話しが盛り上がるので、そう
いうメリットはあります。

●(議長)小原宏会長

小川さん、どうですか。

●小川洋征委員

10年前の説明あったとおり、当時は、非常に我々住民は夢を持っていたんです。合併特例債でこ
れもやりますこれもやりますということを言われて両手を挙げて賛成した訳なんですけど、それが結局
10年後になるとそれだけの財政負担が肩に掛かっているということ、結果的にひしひしと感じている
訳なんですけど、合併した効果というのは、私は、財政的な効果はあったと思うんですけど、地域間の交
流が全然無いんですよ。「お前どこだ」と言うと、東和町だ。東和町のどこやって、土沢だって。
そういうふうには東和町の事はわかるんだけど果たして大迫、太田地域がどうなっているか、石鳥谷の
大瀬川地区がどうなっているか。合併しても小さい地域しか語れないというのは非常に残念だなと。
だからこの間、私参加しなかったけども、議員さんが来て議会報告会をやったんですけども、趣旨は
石鳥谷町の議員が東和町を知るためにここに来て説明するのが目的らしいんだけども。東和町を知る
ために。ところが色々な質問が出て東和町の事わからないから答えられない、ということで、結果的
に何のメリットも無かったよ、と、参加した方からはそういう話しが聞こえてくるんですよ。だから
合併したならば、地域間の交流、もう少しなんかの方法でやる必要があるのかなと、思うんです。他
の方を知って我が身を知る、と。そうでないと人口問題云々、これから課題として出てくる総体的な
問題解決というのは話せないと思うんです。東和町は人口減っているんだけども、花巻の新興住宅の
星ヶ丘とか万丁目とか、あっちの方は人口増えてる。人口増えてる地域の人たちは、人口問題なんか
関係ない。だから町中と辺地との考え方の相違が結構あるもんだから、一つのおっきい課題に対する
議論というのはなかなか問題解決につながる話しはなかなか難しいと思うんです。まず、だから他の
地域を知って交流を図って、色々な相手を知ることが先決じゃないかなと、思います。

●東和総合支所 佐々木支所長

課題ですね。広域的な視点からのまちづくりの展開が未だ熟成されていない、と。

●(議長)小原宏会長

多田さんいかがですか。

●多田保子委員

私は、振興センターとか色んな事で、こうやっていっぱい来て、地域的には良くなったことがいっぱいあったんじゃないかなと思います。田瀬なんかだったら、色んなとこの木を切ったりして、景観も良くなったし、色んなメリットはあると思います。前よりも世代間交流とかいろんなのも続いて、色んな事やってるし、良いんですけど。一番の困ったなあと思ってるのは、米価が安くなったこともあるし、高齢化がなっているからかもしれないけど、環境が人が住める環境じゃ無くなってきていることです。草が生えて山際の方はみんなやめていっているんですよ、農業を。貸してあげたいと思っても、そこ借りたくない。借りる人がいないんです。そうすると全部木になっていくし、私のうちのぎったり前から、もう草ボーボーなんですよ。農家の米が安くなったから、実家の1町歩ちょっとある田んぼなんですけど、そっちもやる人が大変なんですよ。やれない状態なんですよ、百姓を。中内地区のことを実家の方だったから言うけど、全部一人か二人の人に耕作を全部頼んでいるんですよ。その人が全部やってるんですよ。もう草刈りも間に合わないから全部草が立ってて、それでもまず田んぼをやっているうちは良いんです。だけど農家のお金が足りなくなると、回っていかないのでやめるしかないですよ。実際それがもう目の前に来てるから、うちのとも、田瀬もそうだし、中内もそうなんだけど、もうとつてもじゃないけど、この環境をどういうふうに、山になっていく中で生活して行かなきゃ無いかってのは、地域の切実な問題です。それから中内ですけど、空き家にハクビシンが入ってる。どこでもそれで空き家の問題になってると言われるんです。実家も空き家になってるもんですから、私、管理してるんですけど、小屋の二階が開いていたんで、何ヶ月ぶりかに行行って上がってみたら、乾草の上に山盛りにフンがなってるんですよ。ここに入ってるんだなって。でみんなが迷惑しているっていうのは現実の話なんですけど、そういう空き家にケモノが住んで環境がすごく悪くなってるし、そういう、合併したからって問題じゃないけども、10年間のうちには色んな住めない状態がどんどん加速していってるというのが、困った問題だ…

●(議長)小原宏会長

なるほど、そのとおりですね。

●東和総合支所 佐々木支所長

まさに人口減少問題ですね。農業後継者とか、農業環境、空き家関係…もともとはやっぱり人口減少だな。

●多田保子委員

環境がね、中山間で草刈ってるところは、花巻の町の方なんか行ってき、何ぼ農業の米が安くてもきれいになってるじゃないですか。その中山間やれないところは、だれも刈ってくれないんだよね。まあ谷内だってなんだって、中山間でやってるとこは刈らさってるけど、私たちの所は道路の下だから、農業やってだめなとこなんだっけもんね。

●吉田英雄委員

農振除外地(なんですよ)…

●東和総合支所 佐々木支所長

かかっていますからね、都市計画(区域)。田瀬もひどいかもしれないけど、土沢もかなりひどいですよ。農業やる人って、農地持ってる人はいっぱいいるんだけど、ほんとにやる人はほとんどいないです。

●多田保子委員

若い人がそしていないですから、今やっている人も六十近いでしょ、何十町歩をあずかっている人が。その人やめたったらどうなるんでしょうか。やれなくなってそのお金が入らなかつたら、そんな何十町歩とあずかっている人もまわっていかないですよ。

●東和総合支所 佐々木支所長

まだやれる人いますよね。まだ何人かは…。

●多田保子委員

だから中内では二人だかだし、田瀬にも私たちくらいの年の人たちが何人かやってるから、その人たちにみんなあずけてやってもらってるんだけど。

●東和総合支所 佐々木支所長

土沢なんか誰もいないんです。安俵から来てやってもらってるんだけど、状況的には一番ひどいのもかもしれません。私の所も私だけなんですよ、やってるの。あと全部何もやってないんです。

●多田保子委員

そうすると大変ですよ。環境がどんどん悪くなってって。

●東和総合支所 佐々木支所長

全体的にはやっぱり問題ですよ。大きな課題だな。

●小川洋征委員

その話しの続きなんだけど、一昨日、十数町歩請け負ってる農家の人に聞いたんです。昔開墾した田んぼはみんな七畝歩、六畝歩の段々畑なんだけど、機械の効率が悪くて、そんなところとっても

受けられない、という事で放棄するほか無い、いうふうに言ってるんですよ。放棄されると農林省で言う次世代を担う農業者育成には何も効果が無いっていう事で、何とかぎりぎりやってるんだけど、本音はそうらしいんです。最低でも三反歩、四反歩、五反歩の田んぼにしてもらわないと「これから俺以外の人はやれないだろうな」と言っていました。なるほどなど。

●東和総合支所 佐々木支所長

大変な問題です。だからやっぱり新規就農者というか、新しく農業をする人って、やっぱり必要なんだよねって話になる。

●小川洋征委員

新規就農の件で言わせてもらおうと、昨日大迫の内川目の人とちょっと陸前高田で一緒だったから、色んな話して聞いたんだけど、IターンだかUターンかわからないけど、農業やりたくて大迫に入り込んだ夫婦がいる、でハウス作って農作業しているらしいんだけど、草がこんなにおがるとは思わなかった、草むしりだけで時間浪費するのは、これじゃ生産能力上がらないということで、奥さんは逃げて帰ったそうです。旦那は今いるらしいんだけど、とって農作業だけではマンマ食っていけねってということで、作業人夫として今稼いでいる、という話でした。

●(議長)小原宏会長

それはそうだ。現実は。

●東和総合支所 佐々木支所長

農業って今、八割方草取り、それが農業の現実だという、多分わからないと思うが。

●小川洋征委員

ハウスの中では雑草生がらないと思ってきたんだと。

●(議長)小原宏会長

中々、こう、新規就農者とは言うものの、知らないで入ってくると。私は地域で言うんだけど、青年海外協力隊で夫婦が入ってきたんですよ。ところが段々の田んぼだとか段々の畑なもんだから生産性は上がらないという事で、当初の入ってきたイメージとは全然違うということで、いま皆さんやれませんか、稼いでいるからただいだけと、前の夢は潰えたということで、おそらくあの人も出て行くのではないかと。いうふうな事で、やはり田んぼとしてやるのであれば、少なくとも三町歩田とか一町歩田とか、その程度の区画整理をしないと誰も引き受け手が無いし、稼ぎ手が無いと。新規就農者って一生懸命言うけど、これで大丈夫なもんなんだかなと思ったりして、考えるというのは私もあ

りますね。多分そうでは無いのかというふうに思いますね。

松葉さん、どうですか。

●松葉孝博副会長

私は商売もしているのですが、合併した効果というのと、市場が広がった感じがあるな、というのがあります。前、東和町の時だけよりもやっぱり四つの町があって一つの市、自分の町というイメージすると、若者のとか、やる気のある人にとって見ると、やはり大きくなったことは魅力的だったんじゃないかなというふうに感じてます。細かく言うといろいろあんまり逆効果だって言う人もいるかもしれませんが、私はその逆の意味で夢が広がったというか、なんか大きく、合併して良かったなというふうに思う方です。

●(議長)小原宏会長

松葉さんは色々と花巻にも出してみたり色々やってるから、盛岡にもですか？テレビに出てみたり…

●東和総合支所 佐々木支所長

わんこそばの行司も。活躍しているんです。

●(議長)小原宏会長

土沢町内の商売の状況はいかがなもんですか、一般的な話として。

●松葉孝博副会長

うーん、厳しいだろうなと思いますが…。

●(議長)小原宏会長

お店の数も十年前と比べて相当…

●松葉孝博副会長

減ってますね。

●(議長)小原宏会長

売れないからですか、やっぱり。そうなんです。収益が上がらないと。大型店の関係もあるんですか、やっぱり。

●松葉孝博副会長

そうですね、あると思います。

●(議長)小原宏会長

吉田さん、色んな立場をお持ちですから。

●吉田英雄委員

松葉さんは合併効果、良かったという(ことでしたが)、私は総体的に見てあまりそれは出ていない。むしろマイナス、デメリットの方が多いなと感じては思っています。当然、業種によってね商業、それから農業。どうしても農業の方はT P Pの問題もあるし、さっきみたく心配するよう、どんどんどんどん狭小化されていってしまって、もうできない、放棄してしまっている状態が多い。やっぱり合併して良かったのは、問題だけで、ただ今も過疎債、あるいは特例債でやっていると思うんだけど、それが残っているだけで、行政はしやすくなったって面はあると思います。市民から見れば、けっしてそんなことは無い、地域特性全くなくなってしまうという感じは持っています。そういうのが見えなくなってしまう、前と比べてね。じゃあ田野畑、野田村とか、それぞれ懸命になって地域特性を出そうというので、自分たちもがんばっているところもありますから。それはそれなりに、それも永くは続かないだろうなどは私は思ってますけれども、いずれああいうところも、当然合併は容認せざるを得ない時期が来るんだろうと持ってますけど。いずれ職員たちもね地域格差というのは東和町の場合は職員たちもあまりリスクが大きかったわけですが、その辺も今一掃されたのかとかそれはわからないんですけども、どうなのかなと気持ちは持っています。私、今現在では当時の合併の選択はリスクが、デメリットの方が以外に多いなという気持ちがあります。

●(議長)小原宏会長

これだけで時間つぶしているとだめなので、これは、これについてはやめますが、やはり色んなこうしてみると、色んな問題が十年間の間に相当変わってきているということがあるので、やっぱりこの合併の検証というのは、やはりこれは必要では無いのかなと言うふうに思うんですが、この辺あたりは皆さんどうなんでしょうか。やっぱりまず、どんな風なものなんだろうという事で、やる必要が、「無いんだ」という人は少ないとは思いますが、やってみたらどうだかっていうふうな感じはするんですが。皆さん、そのことだけでご意見をお伺いしたいんですが、みなさんどうなんですか。

●吉田英雄委員

必要だと思いますよ。

●(議長)小原宏会長

必要だという事でいいですか、いいですね。

●下林育男委員

区切りの年ですからね。

●(議長)小原宏会長

何らかの方法で合併の十年の検証をしてみるということ、やって欲しいという事でよろしゅうございますね。わかりました。そういうことなので、色々あると思いますのでこのことだけでも二時間、三時間も費やせる、重大な関係だろうと思いますので、何らかの方法で、方法は別としても、検証についてはお願いしたいと、こういうことでございますのでよろしく願いもうしあげます。

●東和総合支所 佐々木支所長

今、せっかく色々な良い意見が出ましたので、地域協議会中心に進めていって頂ければ非常にありがたいなというふうには思っていました。今回だけで無くてまた何回かですね、今日出された意見を基礎として、効果と課題をちょっと分けて頂いて、効果は効果で良いんだけど、課題については、意見出るかどうかわからないんだけど、こういうふうな意見もあるっていう事ですので、意見を皆さんに述べて頂いて、進めて頂ければ。

●(議長)小原宏会長

皆さんの意見を聴取するためには時間が足りなすぎるので、何かアンケートのようなものでも良いから何か書いてもらって集めて会議してみますか。

●東和総合支所 佐々木支所長

なるほどですね。事前に、ということですね。

●(議長)小原宏会長

それから集めて、こういう風なことなんだと、いうことで。

●東和総合支所 佐々木支所長

次回はそれが良いかもしれないですね。

●(議長)小原宏会長

そういうふうなかつこうで進めるということで、この回も進めて行きたいなと思いますし、花巻市

にも合併の検証ということ、そういうことでやって欲しいという事で結論になろうかと思しますので、よろしくをお願いします。

●(議長)小原宏会長

それでは、時間も押しておりますので、この合併の検証については以上で。半端ですけども将来にそのようなことで進めるという事にしたいので、今日はここで終わりたいと思います。

(1) (仮称)花巻市人口ビジョン(素案)について

(2) (仮称)花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について

●(議長)小原宏会長

それでは引き続きまして、花巻市人口ビジョン(素案)について、と、花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)について、これについて、ご説明をお願い申し上げます。

(資料により、伊藤秘書政策課長より説明)

●(議長)小原宏会長

説明をいただきましたが、何が何して何とやらというのが実感ではないかなと、いうふうに思います。最初から申し上げますが、これをこのまま聞いたとしてもダメなので、勉強会をしたいなど、これらについて、合併の検証と、同じ議題でもう一度具体的にそこを進めて行くということでもよろしゅうございますか、皆さん。そういうふうにしていきたいと思います。花巻のビジョン、それからまちひとしごと総合戦略の素案ということでございますので、これからについては皆さんから意見を貰って、指数なりなんなりを入れたり、それから色んな具体的なことを入れたりしたいという事が、課長の意向でございますので、何かしら特徴のあることでも良いかと思えます、東和地域はこういうことあるんだよ、だからこういうことはどうなのかと、でも良いかと思えますし、提言なり意見なりでも良いと思えますので、それらをもう少し勉強していきなというふうに考えますから、よろしくをお願いします。今までの分で何か感じたことございませんか…

…私も別な会議で2回ほど説明を受けておりますが、なかなかこの資料貰って一日かかって読んでいるという、どこをどのようなことか分からなくなるのが…

…なかなか出ないようでございますが、あと5分10分くらいの中で、課長さん、何かここはこうだというような、力説する点ございませんか。花巻市としてこうやるんだと、こうもっていきなんだと、いうことございませんでしょうか。

●秘書政策課 伊藤課長

例えば、東和の皆さんの地域でございますので、東和地域の事をお話ししますと、元々私は東和の出身では無いですし、あまりこちらのことは存じ上げていないというのが、その通りなんですけど、市長と一緒に歩くことが多いんですけども、東和の地域というのは花巻の中でもすごく元気だ、商店街も元気な方だと。街中美術館とかですね、そういうのもありますし、いろんなことをやってらっしゃいます。あと、移住者を受け入れる素地が非常に高いんじゃないのかというお話をされていますので、今、地域おこし協力隊という方が東和にも入ってきてます。お二方、今、入っていますけれども、お二人で良いのかどうか分かりませんが、そういう方々を活用してですね、町が賑やかになっていく方策というのが一番なのかなと。例えば、大きい企業誘致であったりとか、そういう話しを、私も一職員ですので皆様とそういう話しするわけにはいかないんで、やっぱり地域がどうやったら元気になっていくのか、そういう部分が一番では無いかなというふうに思っております。新規就農者の方、沢山受け入れされてますけども、その後が大変だという事なようですが、そのフォローとか、そういうことは何かしら考えていく必要があるのかなと。ただやっぱりいつまでも独り立ちしない移住者というのも、それは問題でしょうから、やっぱり地域でどこまで一緒にやっていくのかなという部分などがあると思います。あと宣伝でございますが、昨日から地域おこし協力隊の方々のフェイスブックというものを立ち上げました。活動を報告するようなものなんですけども、スマートフォンなどで見れるんですけども、皆さんがそういうものをお持ちであれば見ていただいて、応援していただいたり、他の方々にも教えていただければなというふうに思います。最後なんですけど、今年国勢調査の年でございます。ご協力をお願いしたいという事と、インターネットで国勢調査を回答出来るというふうになっております。インターネットで答えると、矛盾すると進まないようになっております。ですので、それがゴールまでたどり着けば成功したという事なので、よく調査員の方があとから「ここ書いてないよ」とか、いうふうなことくると思いますが、そういうこともなくなりますし、そもそも調査員の方が回収に来ることもないという部分ありますので、若い人がおうちにいらっしゃれば、ぜひインターネットで回答していただければ調査員の手間もかなり減りますので、ご協力をお願いしたいなと思います。

●(議長)小原宏会長

地域おこし協力隊ってなんですか？だいたいことは解るんですけども、具体的にはどういうことになるのです？

●東和総合支所 佐々木支所長

東和には二人来ています。一人は町なか。町おこしということで活動していただく。イベントとか土沢の街、どういうふうになれば良いかなという事を、都会の人の感覚で見てくださいと。コーディ

ネットから企画まで、やって貰う。3年間の期間ありますのでじっくりと腰を据えてやっていただくと。で、そのあとは、出来れば町の中に住んでいただければ良いなど、いうふうに思っています。もう一人は農業関係。新規就農者、これのシステムを構築していただくというのが一番の仕事です。農業したくて、来て、草刈りばかりしてひどい、というような、いろいろと課題あると思うんです。そういう相談やら悩みとかも、受けながら、さらには発信していくと。花巻全体ですね、新規就農者来れば、例えば野菜やりたいなら指導者紹介するよとか、農地ありますよとか、という。みずからもそういうところにかかわりながら、出来れば定住していただきたいなど、いうことで、今のところ二人ですけど、出来れば来年も東和総合支所として手を上げたいなと思っていました。増やしたいなと思ってました。

●(議長)小原宏会長

職員の任期が三年で、今年度は東和総合支所に二人来てるんだけど、来年どうなるかわからないの？

●東和総合支所 佐々木支所長

今年来てるのは三人来ている。東和に二人と大迫に一人、三人来ています。この方々は3年間は非常勤として市の職員として勤務出来る、というのが条件となっています。

●(議長)小原宏会長

3年間東和総合支所にいる、ということではないのか。

●東和総合支所 佐々木支所長

東和総合支所にいます。そういう意味です。一人は大迫にいますし、花巻にも…10月だったか…一人来ます。9月に大迫一人追加になるし、来年の4月に石鳥谷には2人くる予定と。

●秘書政策課 伊藤課長

国の方で、地方に人を送るといふ、その制度で、国のお金を使って都会からそういう地域おこし協力隊という、田舎というか、こういう所に来て活動したいなという方を引っ張ってきて、3年間は国がお金を出しますよと。なので3年のうちに地域に溶け込んで、その地域でお仕事をできる力を身につけて、そこに定住することを最終的にがんばって行きなさいよ、という部分でございます。

●東和総合支所 佐々木支所長

機会を見てですね、区長会議でも、農業関係の方々も集まって、町なかの方も集まってもらって、何回も周知しております。面接は地元の方、商店街のかたにやっていただいて、この方が良いという

事で、その方を採用させていただいたと。町なかの関係は女性の二十歳の方、名古屋出身。農業関係は千葉県出身で35歳。東京農大の大学院卒でして、環境、農業関係の専門家でございます。パソコンはかなり得意なようで。どのくらい出来るかどうかというのはあろうかと思えますけども、あまり過度に期待すること無くですね、まずは地元で溶け込んでいただくという事で、活動していただくというふうに思っていました。

●(議長)小原宏会長

それではですね、冒頭からも申し上げておりましたが、今日の議題の3つにつきましては、また同じ議題でもってまた勉強会をしたいなというふうに思います。時期につきましては、お任せ願いたいというふうに思います。課長さん、いつ頃までにいろんな意見を出せば良いのですか。

●秘書政策課 伊藤課長

国の方には10月末までに一旦出しなさいというふうにあるんですけども、体裁を整えたものをまず出して、実際はそれからですね、色んな事を動かしても大丈夫ですので。例えば予算を編成する、来年度の予算を組むとそれなりにまた事業がまた出て来たりすると、またそれを追加したり、いうようなことも出来ますので。ストレートに、言っていただければありがたいのは9月末、10月あたりというのが一つあるんですが、そこで無ければダメですよという話しではないです。

●(議長)小原宏会長

次に勉強会しているんなこと出た時に取り上げてもらえるというのは、9月末までであれば良いという事ですか。

●秘書政策課 伊藤課長

それ以降でもかまいませんけども、一つの目処としては9月末あたりを一つの目標としていただければありがたいと思います。そこでピタッと閉めるよ、ということでは無いです。

●(議長)小原宏会長

わかりました。柔軟に取り入れてもらうためには、9月末までなんだとこういうことですね。10月になるといって、入れるにはよほどな事ない限りはなかなか大変だという事なようでございますから、そのへんあたりを中心にまた勉強会をしたいなというふうに考えますのでよろしくお願い申し上げます。これでやめても良いですか…？

4. その他

●小川洋征委員

さっき言った支援員の事なんけども、百ノ沢の区長に役所の方から紹介あったか、と言ったら、何にも無いと。百ノ沢地区の住宅に入っていることだから、まず地元密着ということで、一回、行政区長に紹介して、それから百ノ沢の住民としての交流から始めたら良いと思うんですが。

●東和総合支所 佐々木支所長

いろんな団体にご紹介したいと思っておりますので、近いうちに。

●地域振興課 菅谷課長

地域でこれから敬老会とか色々行事で集まる機会が多くなると思います。その時にお邪魔させていただいてご紹介させていただくという形になろうかと思っています。

●小川洋征委員

8月1日から生活しているんだから、ゴミ出しからなにかから、住宅周辺の草刈りをどうすれば良いかとか、行政区長とのコミュニケーションやるべきだと思いますよ。

●東和総合支所 佐々木支所長

わかりました。まずは地元で顔出しします。

●小川洋征委員

区長呼んでも良いから、役場のどこかで一回紹介して下さい。区長の方でその後のことについては考えるはずですから。

●(議長)小原宏会長

あと、その他という事ではありますが？以上で議題を終わりますが、今、その他というところまで行ってしまいましたので、よろしくをお願いします。

5. 閉会